

TERCEL

# M1911 COLT GOVERNMENT

AUTOMATIC PISTOL, CALIBER .45 MODEL OF 1911

## 取扱い注意・説明書

HANDLING CAUTIONS AND INSTRUCTION MANUAL



### M1911 コルトガバメント

イントロダクション 1-2P

警告・注意 3-4P

各部名称・ガスの注入・BB弾の装填 5-6P

初弾の装填・セフティ・発射 7-8P

メンテナンス・ガスの特性・トラブルクリニック 9-12P

年代別の製造番号・刻印の解説 13-14P

ホップ調整・発射終了・通常分解 16-17P



HI-KICK HI-GROUPING  
GAS BLOWBACK

# ASIAAIRSOFT.COM

対象年齢18才以上

●ご使用前に最後まで必ずお読みください。

警告	
18才以上	●このエアソフトガンは、使用者・管理者対象年齢18才以上用の競技銃です。
ケガ注意	●発射したプラスチックBB弾を、およそ50～60m先に到達させる能力がありますので、不注意な発射や誤った使用は、失明や怪我等の危険を生じます。
注意書熟読	●ご使用前には、必ず「取扱い注意・説明書」をよく読んで、記載されている各注意点を認識した上でお取扱ください。
●「取扱い注意・説明書」を紛失した場合は、すぐに当社アフターサービス部までご請求ください。	



**CAUTION :** Read the safety rules before handling the  
M1911 COLT GOVERNMENT.

Asia  
**M1911 COLT GOVERNMENT**  
AUTOMATIC PISTOL, CALIBER .45 MODEL OF 1911



AMMUNITION; PISTOL-TERCEL

CALIBER .45 FMJ(230gr.)

CALIBER OF BORE; 0.45 inches

BARREL LENGTH; 5.03 inches

BARREL TWIST in RIFLING; L. H. ONE TURN in 16 inches

TRIGGER PULL; 5 1/2 to 6 1/2 pounds

OVERALL LENGTH; 8.593 inches

WEIGHT of pistol with magazine; 2.437 pounds

WEIGHT of empty magazine; 0.156 pounds

SN; No.871072

"GOVERNMENT ISSUE" COLT'S PATENT FIRE ARMS Mfg. Co., 1943

●ご使用の前に最後まで必ずお読みください。



**Warning!**

This Product has been manufactured and sold pursuant to the laws and relevant regulations of Japan and based upon the societal attitude towards toy guns, etc. in Japan. No warranty is provided that this Product complies with the laws and regulations of any other countries. This English explanatory note concerning this Product is intended only for the information of a foreign user who uses this Product in Japan.

# INTRODUCTION

<コルトModel 1911>は、数々の近代火器を手掛けた非常に有能な人物「ジョン・モーゼ・ブローニング」による製品である。

このピストルは、それまで陸軍制式採用されていた<38リボルバー>がパワー不足による問題を抱えていた為、新たに出した要望書に従うように設計された。

この要望書はパワー不足解消、6連射しか出来ない不満などが盛り込まれており、審査を命じられた「ジョン T. トンプソン大佐」(後のトンプソンサブマシンガンの発明者)と「ルイス A. ラ・ガルド大佐」の2人は、軍隊が適切な阻止力(マンストップングパワー)を確保するためには、.45口径のカートリッジを必要とするという結論に達した。

1905年、コルトのために働いていた「ジョン・M・ブローニング」は彼自身の設計による.38口径カートリッジを使用したオートマチックピストルを発表していたが、新たに陸軍が新型ピストルへの関心を示すと発表された時、ブローニングはこの.38口径オートマチックデザインを変更し、.45インチ口径のカートリッジを収容する改良を施した<モデル オブ 1905>として完成させたのだ。

そして、評価のために陸軍次期制式ピストル採用トライアルに提出。トライアルの過程は1906年にコルト、ルガー、サヴェージ、ノーブル、ベルグマン、ホワイトメルル、およびスミス&ウェッソンによって各々提出されテストが開始された。1年後の1907年、トライアル最終過程でブローニングデザインとサヴェージデザインが共に勝ち残ったが、両者共に安全面に於いて要望したスペックを完全にクリアしておらず、米陸軍はいくつかの改良点と追加実地試験を強く求められる事となった。サヴェージ社はこれらのトラブルを解決すべく努力を重ねていたが良い結果が得られずいたが、コルト社陣営の方はブローニング自ら<M1905>改良型モデルのテスト生産に立ち会うべく、試作生産を監督していたハートフォードに赴く。そこで彼は無意ある若いコルト技術員フレッド・ムーアと出会い、共にテスト銃が完璧に作動するように生産された部品の調整と改良をさらに押し進めていったのだ。そして遂にグリップセフティを追加した改良型<モデル1910>を完成させて、再評価のために選定委員会に再び提出したのである。最終耐久テストは1911年3月3日に行われて、テスト内容は各々の銃、6,000発の発射テストから開始された。100発撃つて後5分間冷却、1,000発毎後にきれいにクリーニングと注油がなされるが、撃発後6000発のカートリッジも回収されて、変形しているか検査を行う徹底ぶり。十分な発射強度が実証されると、次には塵による(腐食テスト)と砂と泥の中に沈められる(防塵テスト)がさらなる過酷な状況でテスト銃を容赦なく痛めつける事となる。

そして<M1910>は、全テストステージを素々とクリアし見事にトライアル優勢を確実なものとした。それは歴史上初の過酷なトライアルテストをパスした軍用ハンドガンとして制式採用となったのだ。1911年3月20日に公表された選定委員会レポートは以下のように述べている。

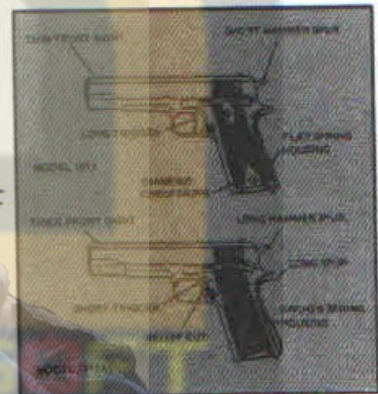
「2丁の新型ピストルは、最終トライアルの結果<コルト社製>が優れているという意見が出された。

理由として、発射性能、耐久性能、部品交換が容易な構造、どれをとっても優秀だからである」

3月29日に、最終改良型<M1911>は、米陸軍の制式携帯用ハンドガンとして選択されて<U.S. pistol automatic caliber .45 model of 1911>と制式名称を与えられた。

採用から数年たった1920年12月にはスプリングフィールド造兵廠は<改良型A1の要望>をまとめてコルト社に提出、その内容は...

- 1) トリガー後部のフレームの角を鋭とした (三日月型のフレームカット)
- 2) ラウンドタイプの採用で握り易くした (メイン8Pハウジング)
- 3) よりコックがし易いように、短く・幅広い(ハンマースパー)
- 4) トリガーに指が握き易いように短縮化した(ショートトリガー)
- 5) 相手の手をハンマーから保護する後部が長い(グリップセフティ)
- 6) さらに視認性が向上する、幅広い (フロントサイト)



≪M1911(上)とM1911A1(下)の相違点

これらの要望が盛り込まれた<改良モデル A1>が試作され、制式に1926年5月<45 model of 1911A1>として更新採用。その改良プログラム終了後に第2次世界大戦が勃発、急激な需要を満たす為1942年からイサカ・ガン社などの火器メーカー、レミントン・ランド、シンガーMfg、ユニオンスイッチ&シグナルなど数社により、約1,270,000挺にのぼるライセンス生産がバリエーションが製造されたのだ。その総数は1945年の生産まで、コルト社も含めるとA1が約1,896,000挺製造されているようだ。(但し資料により製造数のカウントが異なる場合がある。)

## 現代を生き抜く「ミリタリーガバメント」

興味深い事実として1945年を最後にアメリカ陸軍は一切<M1911A1>の制式発注を行っていない。

1983年以降も<M92FS=M9/9mm口径ピストル>が採用されていたが、特殊部隊で<ガバ>は未だ根強い支持があり、.45口径マンストップング・パワーを絶対的に信頼する傾向が強く、昨今注目の<近接戦闘>がこの傾向をさらに助長している。確認されている実例としては、1993年の(ソマリア/モガディシュの戦い=ブラックホーク・ダウン)に参加していたデルタチームの<カスタマイズド.45ピストル>がある。詳しい内容は判明していないが彼等<D-Boys>が使用するとすれば、それなりに手が加えられているモデルなのは明らかだ。「一発でターゲットを無力化できる」そのパワーは現代のオペレーター(特殊部隊員)達のセカンダリー・ウェポンに最適ではなからうか?

また'80~'90年代に新たに編成されたアメリカ海兵隊MEUの<MEU.45ピストル/前期型>は1945年以前のガバメントのフレームを使用し、スプリングフィールド製スライドや、旧パーツを当時の最新型カスタムパーツに差し替えたカスタムモデルを、現在イラクに展開中の海兵隊員も使用し続けているのが確認出来る。最近ではさすがに老朽化が激しいのが、スプリングフィールドやキンバー社などのフルスペックのガバメント・カスタムに交代しつつあるようだ。(ネイビーシールズは独自の思想に基づいて.45口径プラスパワー弾に対応する“SOCOM Mk23 mod.0”を採用している)このように(数々の戦争と紛争)の長い時間、現役として使用できる耐久性性能を持っていると言う事実は、如何に<M1911A1>の初期設計が優れた名銃なのかを如実に表している。

近年、再び<近接戦闘>で脚光を浴びている.45口径ハンドガン。2006年には新たな陸軍制式採用ピストルトライアルが開始する予定があるが、はたしてこの<名銃M1911A1>に太刀打ち出来る<新型.45口径ハンドガン>が出現するのには興味深い所である。

# 警告 <取扱い注意書>

このガスガンは、正しいスポーツシューティングを通じて健全なホビーライフ使用上の注意点を良く認識した上で使用されますと、独特のフィーリングが体スチックBB弾をおよそ40~50m先に到達させる能力がありますので、不注意点とそれぞれのガンの取扱い説明書を最後まで読み、良く認識された上、ル

**不注意な発射や、誤った使用は、失明や怪我**

**警告** 必ず眼の保護具を装着する。



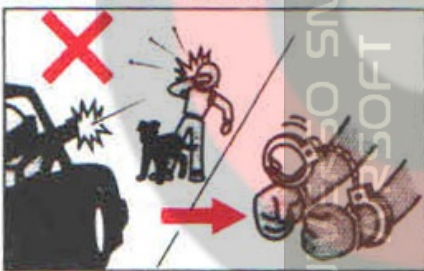
弾を発射する時やゲームなどの場合は、跳弾にも注意し、ゴーグル等の眼の保護具を本人と参加者全員が必ず装着して行ってください。(参加者以外の第三者に弾が当たらないように十分注意してください。)

**警告** エアーガンの人や動物に向けて撃たない。



決してエアーガンで人や動物を狙ったり、撃ったりしないでください。標的を撃つ時以外は銃口に保護キャップを必ず装着してください。

**警告** イタズラのつもりでも処罰される場合がある。



たとえイタズラのつもりでも、共有物、及び他人の財産を撃って破損させたり、人や生き物を撃って怪我をさせたりすると、器物破損の罪や傷害の罪などで処罰される場合があります。

**警告** いつも銃口に保護キャップをつけておく。



万一の暴発を防ぐと共に、防塵のために発射時以外は必ず銃口に保護キャップを装着して下さい(装着したまま引き金を引かないでください)。

\*保護キャップは機種により形状が異なります。

**警告** 銃口は、いかなる場合も絶対にのぞかない。



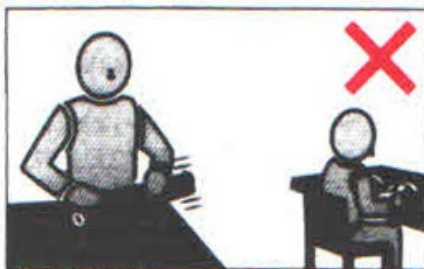
銃口は、弾が入っている入っていないにかかわらず、絶対にのぞかないでください。BB弾が眼に当たった場合、最悪失明の恐れがあり大変危険です。

**警告** 不用意に引き金を引かない。



不用意に引き金を引くと非常に危険です。引き金は、保護キャップをはずし、標的に向かって撃つ時以外は指を触れないでください。

**警告** 銃口は常に安全な方向に向けて取扱う。



銃口はいかなる場合も人や動物、又は危険な場所には向けなくて下さい。標的を撃つ時以外は、銃口に保護キャップを必ず装着してください。

**警告** 人や車が横切るような場所では絶対に撃たない。



ガンを撃つ場所は、安全に配慮し、人や車が横切るような場所、及び回りに人がいるような場所での射撃は絶対にやめてください。

- 操作方法はガンにより異なります。必ずそのガンの特性を良く理解した上でお取扱ください
- 誤った使用法・取扱い、改造・分解によって発生した事故、事件、怪我等につきましては、当社では一切責任を負いません。改造・分解した商品の修理はお受けできません。

# ご使用の前に最後まで必ずお読み下さい。

をエンジョイするために開発されたスポーツガンです。それぞれのガンの特性や、  
 験でき、射撃センスを向上させるスポーツグッズとなりますが、発射されたブ  
 意な発射や誤った使用は、失明や怪我などの危険を生じます。必ず下記の各注  
 ールやマナーを守ったスポーツシューティングをお楽しみください。

## 等の危険が生じますので、十分ご注意ください。

### 警告 ガム及びガスは40℃以上になる所には絶対に置かない。



ガン及びガスは車中等の温度が40℃以上になる所には絶対に置かないでください。爆発の危険性があります。また、そのような高温の場所での取扱い、及び操作は絶対におやめください。

### 警告 移動するときは、ガンを必ずケースやバッグに入れる。



ソフトエアガンを持ち歩く場所は、銃口に保護キャップをし、セフティをかけた上で、必ずケースやバッグに入れて運んでください。

### 警告 子供の手の届かない所に保管する。



対象年齢以下の子供がイタズラをして怪我などを起こさないように、必ず銃口に保護キャップをし、ケースやバッグに入れて手の届かない所に保管してください。

### 警告 弾が入っていないつもりでも発射される場合がある。



弾を撃ちつくしたつもりでも、ガン本体の中に残っている場合があり、不用意に引き金を引くと弾が発射され、危険です。必ず銃口に保護キャップを装着し、保管してください。

### 警告 安全装置(セフティ)は常に掛けておく。



①ガン内部のBB弾とガスを抜き取りませ  
 ②銃口に保護キャップを装着する。③セフティ(安全装置)を作動させる。

### 警告 発射時以外は引き金に指をかけない。



標的に向けて発射する時以外は引き金に指をかけない事。引き金に指をかけた状態では、何らかのはずみで引き金を引いてしまう恐れがあり、危険です。

### 警告

- このガンは、直径6ミリのプラスチックBB弾をおよそ40~50m飛ばす能力があります。使用の際は、この性能を念頭に置き、あらゆる危険防止を考慮した上で取扱ってください。
- ホップアップシステムは弾丸が回転しながら飛びますので、ガンを倒して撃つと、BB弾が左右に大きく曲がって飛び危険です。ガンは必ず通常の立てた状態で撃ってください。
- このガンは、最適な性能・操作性を考慮して製造されています。むやみな分解・改造は危険性を誘発したり、性能を著しく損なう場合がありますのでおやめください。
- ゲームなどの場合、想定される危険エリア内にゴーグルなどを装着していない人や、ゲームに参加していない第三者がいない事を確認してから行ってください。
- 銃口を、破損の危険性のあるもの(ガラス、照明灯、家電品、食器類、家具、自動車、ガスボンベ、その他)には絶対向けないでください。
- シリンダーや銃身孔にはBB弾以外の物を絶対に装弾しないでください。
- このガンに使用するガスは、直接体に吹きつけると低温ヤケド等をおこす場合がありますので注意してください。
- このガンには、マルイ純正134aガス以外使用しないでください。他社製、及び代替品は作動不良等のトラブルの原因になり、危険です。
- このガンはその形状から指等を挟みやすい箇所があります。指を挟まないようにしてください。
- 飲酒した上でガンの取扱いはさまざまな危険性を誘発する恐れがあるので、おやめください。
- 正常な使用方法(取扱い説明書どおり)で引き金を引いても発射されない場合、又は長期にわたる使用で耐用期限を過ぎて起こるトラブルや誤って落下させた時なども自分で直そうとせず、お買い求めのお店が当社アフターサービス部にお問い合わせまたは、ご相談ください。
- ガンを保管する場合、転倒や落下したりするような場所を避け、子供又は管理者以外の人の使用ができない場所へ、銃口に保護キャップを装着し、必ずパッケージやケースに入れて保管してください。保護キャップを紛失された方は¥53+送料¥120(計¥173、切手でも可)をお送りください。折り返し、保護キャップをお送り致します。その場合必ず製品名を明記してください。
- 「取扱い注意・説明書」は必ず保管しておいてください。紛失された場合は¥105+送料¥140(計¥245、切手でも可)をお送りください。
- このガンは、通常の使用でおよそ10,000発前後の発射で消耗パーツ等の交換が必要です。耐用期限を過ぎての使用は、作動不良等で危険性を誘発しますので当社アフターサービス部、又は販売店に整備をご依頼下さい。

●商品に関するお問い合わせ 03-3605-1113 ●修理に関するお問い合わせ 03-3605-3373 ●パーツに関するお問い合わせ 03-3605-9669

# Hi-KICK Hi-GROUPING GAS BLOW BACK M1911 COLT GOVERNMENT



取扱う前に必ず最後までお読みください。

Mr. M. Rge25  
Shooting Instructor

## 取扱い説明書の表示について

- この説明書には製品を安全に正しくご使用していただくため、絵表示と説明によって操作上特に注意すべき点を示しています。本説明書を熟読し内容をよく理解した上ご使用ください。
- 警告・注意事項を無視して誤った取扱いをするとケガの発生や製品の故障を誘発し危険です。それを起因としたトラブルについては、当社では一切責任を負いません。

## ガスボンベ取扱い上の注意 (ガスボンベ別売)

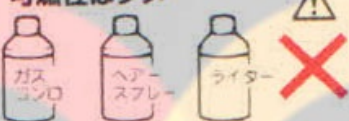
### ●ガスボンベについて

この製品はHFC134aガスにより作動します。マルイのガス銃専用ボンベを購入してください。当社は、250g入り、400g入りを用意しています。店頭でお求めください。

### ▲警告 カスボンベ使用上の注意

- ★火災等の恐れがあるので、ブロンガス以外の可燃性のガス(ガスコンロ用、ガスライター用、ヘアスプレーなど)は絶対に使用しないでください。
- ★爆発等の恐れがあるので、ガスボンベは直射日光の当たる場所(車の中など)や高温になる場所(ストーブのそばなど)40℃以上のところに放置したり保管したりしないでください。
- ★爆発等の恐れがあるので、火中に投じないでください。
- ★捨てる際にはガスを全て抜ききってから捨ててください。

### 可燃性はダメ



### 40℃以上はダメ!



### 火の中に投じない



### ●マルイガンパワーHFC134aガス

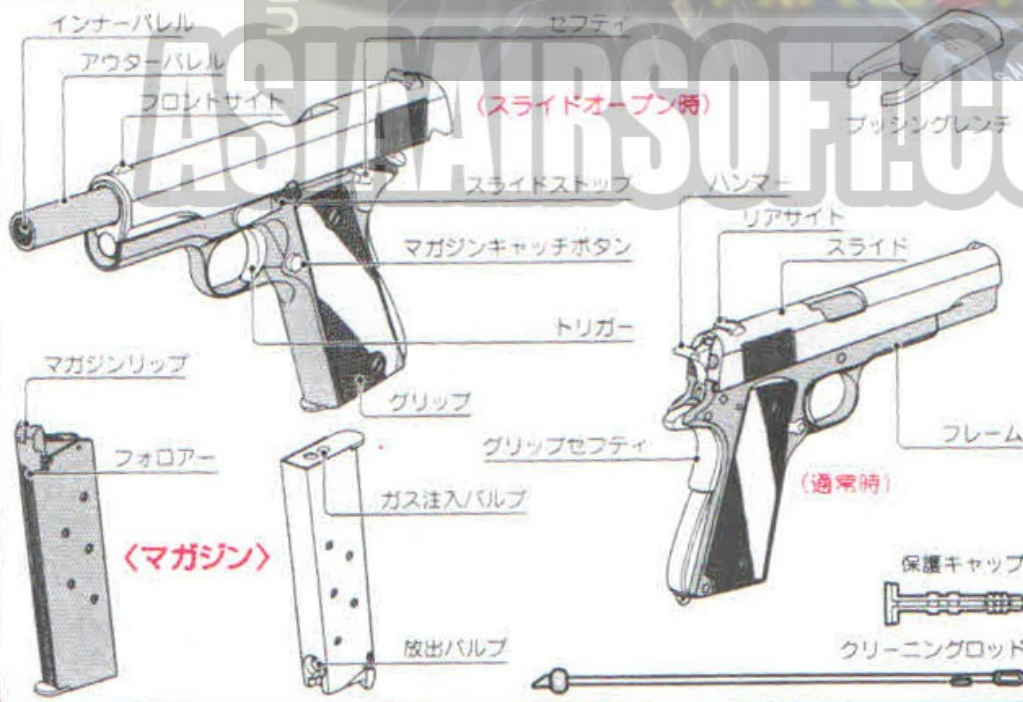


400g (¥1,260)

250g (¥945)

- マルイ純正ガスをご使用ください。
- 使用時には、ガスボンベ裏面に書かれた注意をよくお読みください。

## 1.各部の名称 (詳細については各ページ項目で説明します。)



### ▲警告・注意

スライドが勢い良く後退するので顔や指を近づけないでください。

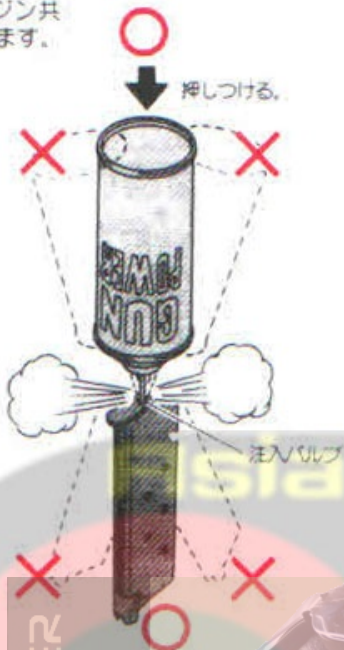


●ブローバックモデルですので、トリガーを引くとスライドが勢い良く後退します。顔や指を近づけるとケガの危険が生じますので、注意してください。

●40℃以上になる場所での使用は銃が破損する場合がありますので、注意してください。

## 2. ガスの注入

- マガジンを逆さにして、ガスポンペ、マガジン共垂直にして注入します。



バルブからガスが吹き出たら、すぐに注入をやめてください。ガス注入過多になると、生ガスを吸って（P12画ガスの特性参照）発射回数が減少する場合があります。

### ▲ マガジン取扱い上の注意

- 冬季等で気温が20℃以下の環境のもとでは、ガス圧が低下し、動作が鈍る場合があります。この場合、室温が20℃であってもマガジンは冷えていますので、手で温める等、常温に戻してからプレイしてください。
- 常温時でもマガジン内にガスを満タンに注入した直後や、連続して数十発発射した後などは、やはりガス圧低下を起こしますので、スベアマガジンを用意して、交互に入れ替えて使用すると良いでしょう。
- マガジンは、大変精密にできています。落下などさせますと破損しますので注意してください。
- 本体の故障や作動不良を引き起こす恐れがあるので、マガジンの給弾口や、ガスの噴出口にゴミが入らないように注意してください。
- 銃にマガジンを装着した状態ではガスチャージしないでください。
- マガジンの変色を抑えるため、使用後にマガジン表面にシリコンオイルを薄く塗っておくと良いでしょう。
- 本体及びマガジンの故障や作動不良を防止するため湿気の多い所や水まわりに置かないでください。

### ▲ 警告・注意

- マガジンを斜めにしたり手を振りながらチャージすると規定量以上のガスがチャージされ、本体に正しくセットしても作動（ブローバック）しなくなってしまう。

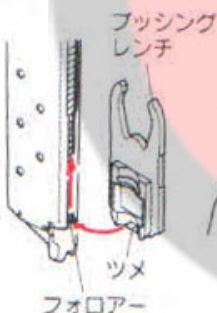
- マガジンにガスをチャージした際、マガジン後部の放出バルブを押すと上部のガス噴出口よりガスがいきおいよく放出されます。顔面及び皮膚にかかると低温ヤケドをおこす可能性があり大変危険ですので、バルブには手をふれないでください。



- 夏場など温度が高くなる場所への放置は、絶対にしないでください。（マガジンが破裂する恐れがあり、大変危険です。）

## 3. BB弾の装てん

- 下図の順番でBB弾を入れると、計26発入ります。



### ▲ 注意

- フォロアーを下げて、勢いよく戻さないでください。リップ部が破損します。

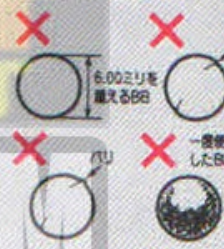
- ① プッシングレンチのツメをフォロアーに掛けて、一番下まで引き下げます。

- ② マガジンベースの先端をプッシングレンチの四角穴へ差し込み、外れないようにしっかり押さえながら、マガジンのスリットからBB弾を一発ずつ入れてください。

- 残りの1発は、リップ部から装てんしてください。（計26発入ります。）

### ▲ 警告・注意

- 精密なタイトバレルを使用していますので、汚れた弾や他社の径の大きな弾、バリや突起のある粗悪なBB弾を使用すると、ホップアップシステムをいためたり弾づまりを起こすなどトラブルの原因になりますので絶対に使用しないでください。



## 4. マガジンのセット



カチッ

- A. マガジンをセットする  
マガジンを銃本体にカチッと音がするまで押し込みます。（力まかせに押し込まないでください。）

### ▲ 注意

- マガジンは落下させると破損します。



マガジン  
キャッチボタン

- B. マガジンを取外す  
マガジンキャッチを押すとマガジンが抜けますので手で押さえて外します。

### ▲ 警告・注意

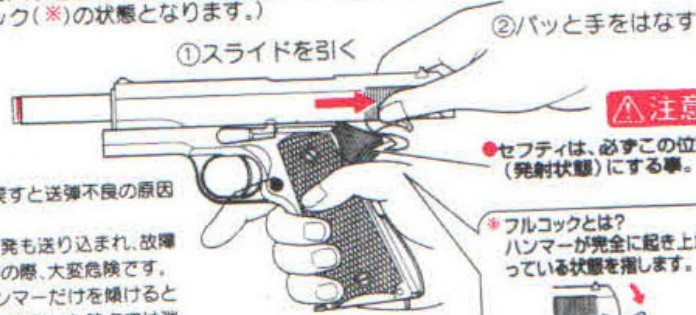
- マガジンを入れる時、トリガーに触れないでください。



- 一時的に使用しない時は、安全のため、必ずマガジンを銃本体から抜いておいてください。

## 5. 初弾の送弾

- スライドをいっぱい引きパッと手をはなすと、初弾が送り込まれ発射できる状態になります。(ハンマーも傾き、フルコック(\*)の状態となります。)



※②の時、スライドをゆっくり戻すと送弾不良の原因となります。  
 ※この操作を繰り返すと弾が何発も送り込まれ、故障の原因となります。また、発射の際、大変危険です。  
 ※①・②の通りに操作せずにハンマーだけを傾けると  
 発射の際1回目にトリガーを引いた時点では弾を  
 発射せずにブローバックだけを行います。2回  
 目以降は弾を発射するようになります。  
 誤射の可能性があり、大変危険ですのでご注意ください。

**注意**

●セフティは、必ずこの位置(発射状態)にする事。

●フルコックとは？  
 ハンマーが完全に起き上がっている状態を指します。



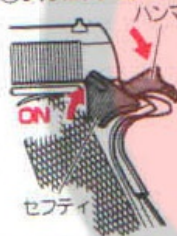
### 警告・注意

- この操作を行う時はトリガーに触れないでください。
- この操作を行った後は、いつでも弾が発射される状態になりますので、銃口方向には十分注意してください。

## 6. セフティ(安全装置)

**注意** ●すぐに使用しない場合は、安全のため必ずセフティをONにしてください。

### ①フルコック時のセフティ



左図のハンマーが「フルコック」位置の時のみ、セフティを操作して、ONの状態に出来ます。また、この状態ではトリガーとスライドが操作できません。故障の原因となりますので、無理に動かさないでください。

### ②ハンマーダウン



左図の状態では、セフティは操作できません。また発射もできません。発射するには、指でハンマーの位置をフルコックにするか、スライドを引いて、初弾の送弾を行ってください。

### ③ハーフコック時のセフティ



ハンマーが「フルコック」と「ハンマーダウン」の中間に引っかかるのが「ハーフコック」です。



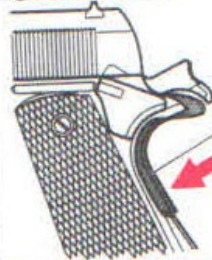
左図の「ハーフコック」位置ではセフティは操作できません。(トリガーは動きますが発射されません。)

多し動きますが機能しません。

**注意**

●ハーフコックについて...安全上設けられた位置です。通常の使用においては、ハンマーをこの位置にする必要はありません。万が一この状態になってしまった場合には、まず必ずマガジンを抜き、絶対にトリガーに触れないで、ハンマーをフルコックの位置まで傾けてください。

### ④グリップセフティ



このセフティは、常時自動的にかかっており、グリップをしっかりと握る(銃口方向に押し込む)事で解除され、トリガーが引けるようになります。

グリップセフティ

**注意**

●グリップセフティを押し込んでいない状態で無理にトリガーを引くと故障の原因となります。

### 警告・注意

- 発射直前に、セフティを解除するようにしてください。
- セフティの操作を行う時は、トリガーから指を離してください。

●保護キャップは常に装着しておき、発射直前まで外さないようにする。



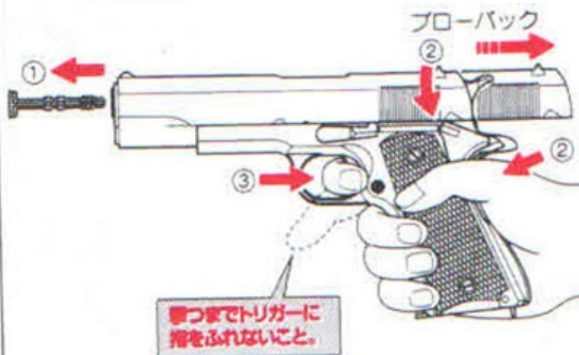
- 絶対にトリガーを引きながら指でハンマーを戻さないでください。スライドがブローバックして怪我をする恐れがあります。





## 7. 発射 (この時点で初めてトリガーに指をかけます。)

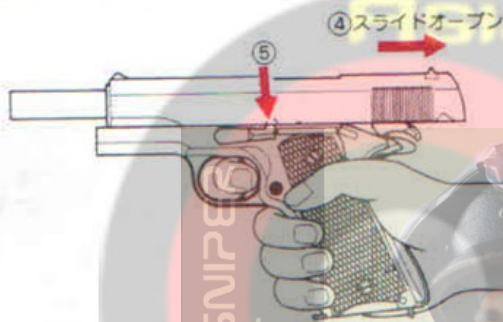
■BB弾を発射して、スライドがブローバックします。



● 5 で初弾の送弾をした後、トリガーを引くことに「BB弾1発発射」→「スライド後退(ブローバック)」→「スライド前進(次弾装弾)」を自動的に繰り返します。

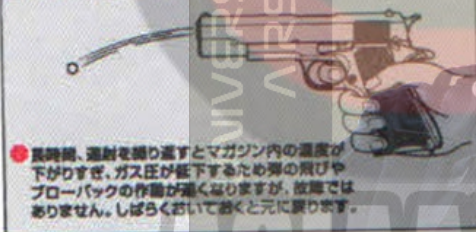
- ①保護キャップを外します。
  - ②セフティを解除します。(グリップセフティは握らないと解除されません。)
  - ③トリガーを引きます。(BB弾が発射されブローバックします。)
- ※トリガーを引くことにこの動作を繰り返します。

### ■スライドオープン

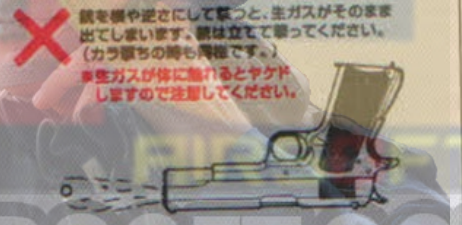


- ④弾を全弾撃ちつくすとスライドストップがかかり、スライドオープン状態となります。
- ⑤スライドストップを解除する(下にさげる)とスライドが前進し、元の状態にもどります。

### ■パワーの低下について



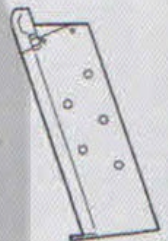
### ■銃を逆さにして撃たない



※スライドオープン時にマガジンチェンジを行いスライドストップを解除すると、初弾がチャンバーに送り込まれ再び発射準備完了となりますが、スライドのカドは鋭利なため、指などを切らないように注意してください。また操作を行う時は、トリガーから指を離して銃口方向に十分注意してください。

## 1. 警告・注意

- スライドが勢い良く後退しますので、眼や指などを絶対に近づけないでください。
- 安全のため、必ずゴーグルを装着してください。
- ガス切れやマガジンの温度低下又は気温の低い冬季などの場合は、ガス圧が低下し、スライドストップがかからない場合が出てきますが故障ではありません。ガス補充、及びマガジン温度が20℃位まで回復すれば正常に作動するようになります。
- この機種は横幅の薄いリアルなマガジンを採用しています。その為ガスの注入容量が少なめです。1マガジン分(26発)発射後続けて使用する場合は、再度P6ガスの注入を行ってください。



## 8. サイティング

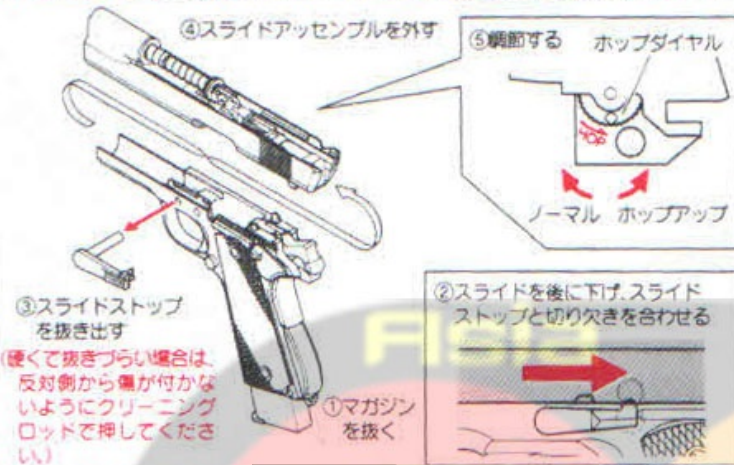
- 右図の様に、リアサイトの凹とフロントサイトがターゲットの中心に来るように狙います。



## 9. 可変ホップアップシステムの説明

このシステムは、発射されるBB弾に一定方向の回転を与える事によりBB弾に握力を持たせ、普通の発射機構が放物線を極く弾道に対し、より遠い目標に向かって水平に、かつ遠距離に飛ばす事を実現させたものです。さらにマルイの可変ホップアップシステムは固定式のものとは異なり、ダイヤルやレバー調整でスピンのかかり方をワンタッチで微調整することができる、まさに理想的なホップアップシステムです。

▶ 調整のしかた(取扱説明書のP87発射を読んで試射をしながら行ってください。)



- ホップアップの調整をする場合は、必ず①～⑤の手順に従ってください。
- ホップダイヤルを少しずつホップ方向に回すと、ホップがかかります。(BB弾が水平に飛ぶところがベストです。)
- あまり強くかけすぎると逆に飛行性能を悪くしますので、必ず水平になったらやめてください。
- ホップダイヤルは、一定以上ムリに回してかけようすると故障の原因となります。

**注意** ホップダイヤルをノーマル方向に(ホップを弱める)回していくと、まれにチャンパー内の弾が銃口よりこぼれてしまう場合があります。その場合は、多少ホップをかけてください。(BB弾を止めるストッパーが引っ込む為、故障ではありません。)

● 下図の様にBB弾が水平に飛ぶ位置がベストポジションで飛距離もUPします。



### ご使用上の注意 (必ず守ってください)

- ホップダイヤルを回しすぎると弾づまりをおこします。そのまま撃ち続けると、内部機構が破損します。
- 弾づまりをおこした場合は、すぐに撃つのをやめてホップダイヤルをノーマル位置に戻し、クリーニングロッドでつまった弾を取り出します。(11P 23参照)
- 弾づまりを直す時やクリーニングする時は、ホップ調整レバーを必ずノーマル位置まで戻します。(戻さないとチャンパーパッキンをいためます。)
- 一度使用した弾、汚れた弾は絶対に使用しないでください。(チャンパーにゴミが付き、ホップが不安定になります。)
- 5,000発位撃ったら、チャンパーにシリコンオイルスプレーを0.5～1秒間スプレーしてください。(11P 23参照: スプレー後、約60～70発前後はホップが不安定になる事がありますが、故障ではありません。)
- 誤った使用方法、分解、改造などによる故障・事故について当社では一切責任を負いません。また、それらの修理費用はお客様の負担となります。

### ホップがかからない時は

※1=お買求めのお店か 当社アフターサービス部にお問い合わせまたは、ご相談ください。

銃の状態	原因	対処の方法	銃の状態	原因	対処の方法
弾が上に飛ぶ	ホップのかけすぎ	ホップダイヤルをノーマル方向に少しずつ戻す	弾がでえない	ホップパッキン その他のパーツ破損	※1
弾があまり飛ばない (ホップがかからない)	ホップの強めすぎ	ホップダイヤルをホップ方向に少しずつ回す	弾づまりをおこす	ホップのかけすぎ	ホップダイヤルをノーマル方向に少しずつ戻す
	ホップパッキンに油が付いている、又は汚れている	4～5マガジン分抜けるか、クリーニングロッドで汚れをおとす		BB弾の不良、径が大きい	東京マルイ製電動ガン対応BB弾を使用する
	ホップパッキンの摩耗破損	※1		ホップパッキンが汚れている	クリーニングロッドで汚れを落とすか ※1

### 警告・注意

必ずマルイ電動ガン対応0.2g～0.25gBB弾を使用してください

- 本製品は高精度なマルイ電動ガン対応0.2g～0.25gBB弾にベストマッチするようにセッティングしてあります。それ以外のBB弾を使用すると、ホップアップシステム本来の性能をスポイルしてしまう事があります。(集弾性の悪化や弾づまりの原因になります。)

### ホップアップシステム

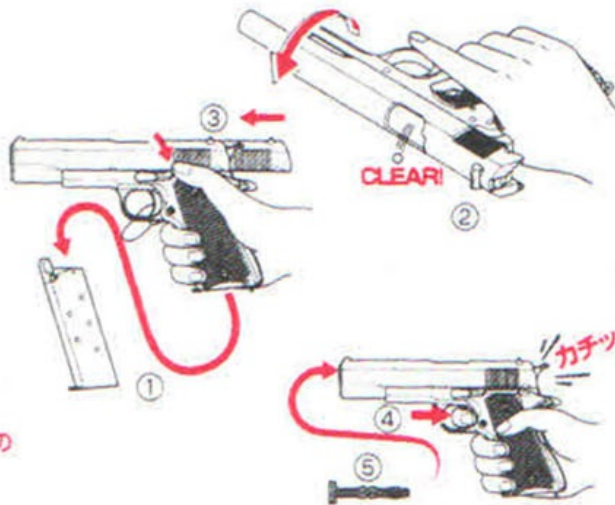
についてのまとめ

- 撃ち始めのとき、若干ホップのかけ方が不安定になりますが、これはシリンダー内のシリコンオイルが付着しているためです。60～70発撃つと正常にホップがかかるようになってきます。またメンテナンスオイルを使用した場合も同様です。
- 粗悪な弾を使用すると弾づまりをおこします。弾づまりをしたまま撃ち続けると内部メカをこわします。また、一度使用した弾、汚れた弾も同様で、ゴミ付着によりホップが不安定になります。弾づまりを直すときやクリーニングするときは、ホップパッキンをいためないように注意する。(11P 23参照)
- 5,000発位撃ったら、ホップパッキンにシリコンオイルスプレーを0.5～1秒間スプレーし、クリーニングロッドで汚れを落とすしてください。(スプレー後60～70発前後はホップが不安定になる事がありますが、故障ではありません。)

## 10. 発射終了 (保管)

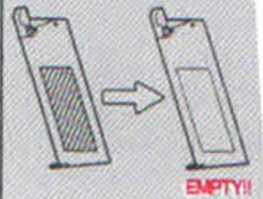
- ①マガジンを抜き取ります。
- ②チャンバーに残弾がないかをチェックします。弾が残っている場合は、銃を逆さにして、弾を取り除いてください。もしもBB弾が出てこない場合は11Pメンテナンスの2.弾ぶまりの取り方と同じ手順で、残った弾を取り除いてください。
- ③スライドストップを解除します。
- ④安全な方向に向けてトリガーを引き、空撃ちします。
- ⑤保護キャップを装着します。

**警告** 夏場など、温度が高くなる場所への放置は絶対にしないでください。



### 警告・注意

●保管する場合は、ガスが残っていないかを確認してください。残っている場合は、弾を入れずに、空撃ちをしてガスを空にしてください。



## 11. メンテナンスのための通常分解 (フィールドストリッピング)

1. マガジンキャッチボタンを押してマガジンを外します。

※マガジン落下注意!



2. スライドを後にずらして切り欠きを合わせ、スライドストップを抜き取ります。



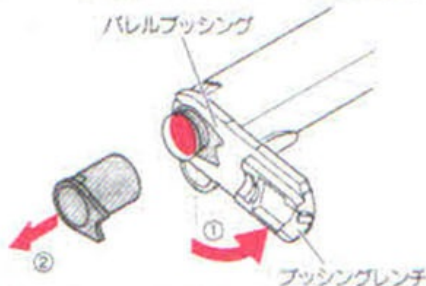
3. 前にずらしてスライドを抜きます。



4. ①リコイルガイド②リコイルスプリング③リコイルプラグの順に分解します。



5. ブッシングレンチを用いバレルブッシングを①矢印の方向へ回しきり②前方へ引き抜きます。



6. バレルアッセンブルを前方に抜き取ります。



抜く時に多少きつめですが、真っ直ぐバレルを引き抜いてください。

### 警告・注意

●これ以上の分解はしないでください。正常に作動しなくなるなど危険性を誘発します。

●誤った使用方法、分解、改造などによる故障、事故について当社では一切責任を負いません。またそれらの修理費用はお客様の負担となります。

●リコイルガイドを外すとき、リコイルスプリングに押されたリコイルガイドが、飛び出す恐れがありますので注意してください。

## 12.組み立て

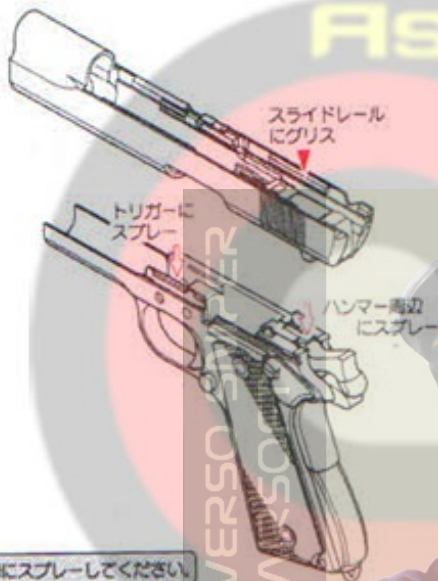
メンテナンス終了後、分解と逆手順で行ってください。

### 警告・注意

- 組違い、欠落に起因する作動不良等で起こる事故、故障等のトラブルについては、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 13.メンテナンス

1. 作動部分の動きをスムーズに保つため、定期的にメンテナンスシリコンオイルスプレーを注油してください。



① 印にスプレーしてください。

② 印にシリコングリスを塗ってください。

\* メンテナンス時にネジのガタつきがある場合は、ドライバーで締め直してください。

2. 弾ぶまりの取り方

- ① マガジンキャッチボタンを押して、マガジンを外します。  
② スライドストップをかけます(スライドオープンの状態)



- ③ 銃口からクリーニングロッドを差し込みます。



- ④ 下図のようにロッドでつまっている弾を押し出します。



※ホップはノーマルに戻してから

3. 集弾性が落ちてきた時のメンテナンス



綿糸の端切れを上図の大きさに切り、クリーニングロッドの穴にはさみ込みます。(綿の厚さにより長さをかえてください。バレルにスムーズに入ればよいでしょう。)  
※ティッシュペーパーなどは使用しないでください。

### メンテナンスの順序

- ① 銃弾口よりシリコンスプレーを0.5~1秒間スプレーします。  
② クリーニングロッド(綿付き)を上図のようにクリーニングして終了です。  
(マガジンにBB弾を入れて、1マガジン程度撃ってください)

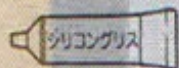


### 警告・注意

- ガスの通り道になるべくシリコンスプレーが入らないようにしてください。ホップのかがりが悪くなります。穴の回りにグリスを塗るのはOKです。
- 必ずシリコンメンテナンススプレー・シリコングリスを使用し、CRC鉱物油等は使用しないでください。(パーツが解けてしまいます。)
- マガジン内やシリンダー内への注油は定期的に行ってください。但し、必要以上に付けすぎるとホップのかがりが悪くなります。



シリコンオイルスプレー  
別売 ¥504



シリコングリス  
別売 ¥315 (2g×2ヶ入)

- 必ずホップアップをノーマルに戻してからクリーニングロッドを入れてください。
- チャンバー内は、非常に精密ですので、一度使用したBB弾は使用しないでください。又、硬いブラシなどはホップチャンバーバッキングを傷める恐れがあります。
- メンテナンス後、60~70発前後はホップが不安定になることがあります。故障ではありません。

## 14. ガンパワーHFC 134a・液状ガス（生ガス）の特性

### ■液状ガスについて

マガジンに注入した液状ガスが、何倍にも膨張し気化したガスの部分を放出する事で、正常な作動が得られるように設計されています。その為、気化する前の液状ガス部分まで放出してしまうと、発射出来る回数が著しく減少します。



### ■急激な連射はしない事!

急激に連射すると、ガスの気化が追いつかず液状ガスを放出してしまいます。



### ■気温の低い所では、絶対に撃たない事!

外気温が低ければ低い程、上記の現象が出易くなります。ある一定温度(20℃以上)の場所で、発射することをお勧めします。

### ■冷えたら休ませる!

冷えたまま撃ち続けると、液状ガスを噴いてしまうのでマガジンを本体から取出し、手の平の体温で温めてからご使用ください。



**注意** 生ガスが体に触れると、低温ヤケドしますので注意してください。

## 15. トラブルクリニック (故障内容自己判断/こんなときは・・・)

銃の状態	原因	対処の方法	銃の状態	原因	対処の方法
作動しない	セフティがかかっている	7P目の手でセフティを解放する。	スライドが閉鎖していない	総弾口付近にBB弾又は異物がはさまっている	スライドをオープンし、BB弾または異物を取り除く。
	マガジンへのガスチャージ過多	マガジンの放出口バルブを数回たたいてガスが少量化つて放出してください。 <b>※</b> 放出口の出口は絶対に人に向けてください。	気温が低すぎる(冬季など)	あたためた室内などにしばらく置き、マガジン温度を回復させて使用する。スベアマガジンを併用し、交互に使用。	
	マガジンへのガスチャージ不足	ガスチャージの量が不足しているか(特に気温低い作動のために必要な圧力を得られません。6P目の手で通常のガスチャージを行ってください。	ガス圧の低下(1つのマガジンの長時間使用や連射(連射)をくり返すとマガジンが冷え、圧力が下がってしまいます)	マガジン温度を回復させて使用する。	
	ガスもれ	※)	ガス切れ	6P目の手でガスチャージします。	
ブローバックする が弾が出ない	BB弾がセットされていない	6P目の手でBB弾をセットする。	弾が発射されるがスライドの動きが悪い	シリンダー内のバルブ及びピストンパーツバルブブロッカーの不良	※)
	マガジン内に弾が引っかかっている	6ミリ位のプラスチック製の棒をマガジンに入れ、2-3度上下させて引っかかったBB弾を叩き(精密な電動ガン対応BB弾を使用する事)	マガジンガスケット摩耗 破損	シリンダーオイル及び 그리스 切れ	11P目のメンテナンス作業をする。
	BB弾の総弾機部分の損傷	※)	チャンガン・バックの破損	チャンガン・バックの破損	※)
			弾の発射量が少なくなった	バルブスプリングの硬化	※)
				バルブパーツの破損	※)

※) お買込みのお店が当社アフターサービス窓口にお問い合わせまたは、ご相談ください。

## Gas Blow Back

### ガスブローバックガバメントの特徴

TERCEL が歴史に残る「名銃 M1911 コルトガバメント」をリアルなガスブローバックで世に出す事の意義は大きい。今回ミリタリーガバメントを制作するにあたり最重要コンセプトに掲げた事は「ミリタリーガバメントの決定版を造る!」その一点! 膨大な資料の中から制作モデルを決定し、徐々に形が造られて行く過程は「ガスブローバックの頂点」に相応しく、特に初期コンセプト段階での絞り込みは「どの年代のどのモデルを造っていくのか?」など詳細な調査や資料の整合性を吟味し、決定がなされていった。

そこで選ばれたのが「最もミリタリーガバメントらしい姿」の戦時生産の1943年製造のコルトモデルであった。刻印、アウター形状、各部パーツに至までリアルに再現する事はもちろん、全体的な仕上げまでもが吟味されて、マルイ初となる実物パーカーライズド仕上げを彷彿とさせる「プラスト仕上げ」を採用! パーティングラインも念入りに処理され、スライド刻印も打刻方式を採用する徹底ぶりです。「リアルなスライド打刻印」の再現も成功。しかもシングルカラムサイズのマガジン(単列式弾倉)でありながら「26発のハイ・キャパシティー弾数」を実現し、可変ホップアップシステムも「ハイキャパシリーズ」からの性能を受け継ぎ「高い命中精度とロングレンジでの抜群の飛び」を実現している。もちろんブローバックエンジンは定評のある「ハイキックブローバックシステム」を採用し、俊敏で且つ、手応えのあるブローバックを実現したのである!

今までの BELL・ガスブローバックシリーズのコンセプトを打ち破る「M1911 コルトガバメント」は、オリジナルの荒々しさそのままの魅力で、いつまでも「ガンファン」に愛され続ける事であろう。

## Year Manufacturer Military Serial Numbers.

(各年代の軍用納品シリアルナンバーと製造メーカー)

1924	700001 ~ 710000	COLT
1937	710001 ~ 711605	COLT (USN, US Army)
	711606 ~ 712349	COLT (USN)
1938	712350 ~ 713645	COLT
1939	713646 ~ 717281	COLT (USN)
1940	717282 ~ 721977	COLT
1941	721978 ~ 756733	COLT
	S800001 ~ S800500	SINGER
1942	756734 ~ 856100	COLT
	H800501 ~ H801000	Assigned to H&R
1943	856101 ~ 958100	COLT
	856101 ~ 856404	Replacement Numbers*
	*856405 ~ 916404	ITHACA GUN
	916405 ~ 1041404	REMINGTON RAND
	1041405 ~ 1096404	Union Switch & Signal
	1088726 ~ 1092896	COLT
	1096405 ~ 1208673	COLT
	1208674 ~ 1279673	ITHACA GUN
	1279674 ~ 1279698	Replacement Numbers*
	*1279699 ~ 1441430	REMINGTON RAND
1944	1441431 ~ 1471430	ITHACA GUN
	1471431 ~ 1609528	REMINGTON RAND
	1609529 ~ 1743846	COLT
	1743847 ~ 1816641	REMINGTON RAND
	1816642 ~ 1890503	ITHACA GUN
	1890504 ~ 2075103	REMINGTON RAND
1945	2075104 ~ 2134403	ITHACA GUN
	2134404 ~ 2244803	REMINGTON RAND
	2244804 ~ 2380013	COLT (change to Gothic characters**)
	2380014 ~ 2619013	REMINGTON RAND
	(2465139)	Less REMINGTON RAND**
	2619014 ~ 2693613	ITHACA GUN
	(2660318)	Less ITHACA GUN**

\* ) 直訳すると交換番号の意味 = 手違いなのか故意なのか判明しないが、2つの製造メーカーで同じ製造番号がダブっている。

\*\* ) この番号を境に、コルト社製のシリアルナンバーが打たれている書体がゴシック体へと変更になった。

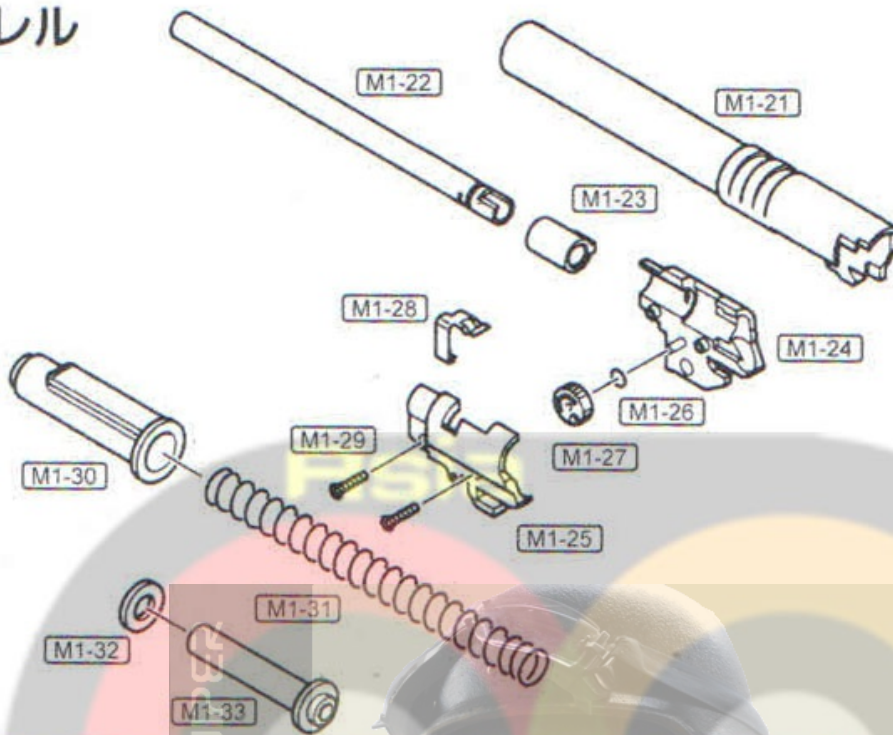
\*\*\* ) コルト最終納入ナンバー (2368718)  
レミントンランド最終納入ナンバー (2465139)  
イサカ最終納入ナンバー (2660318)

M1911 コルトガバメント/ガスBLKガンデータ	
型名	M1911 コルトガバメント
全長	218mm
全高	33mm
重さ	798g
銃身長	128mm
総弾数	26+1発
弾丸	6mmBB弾

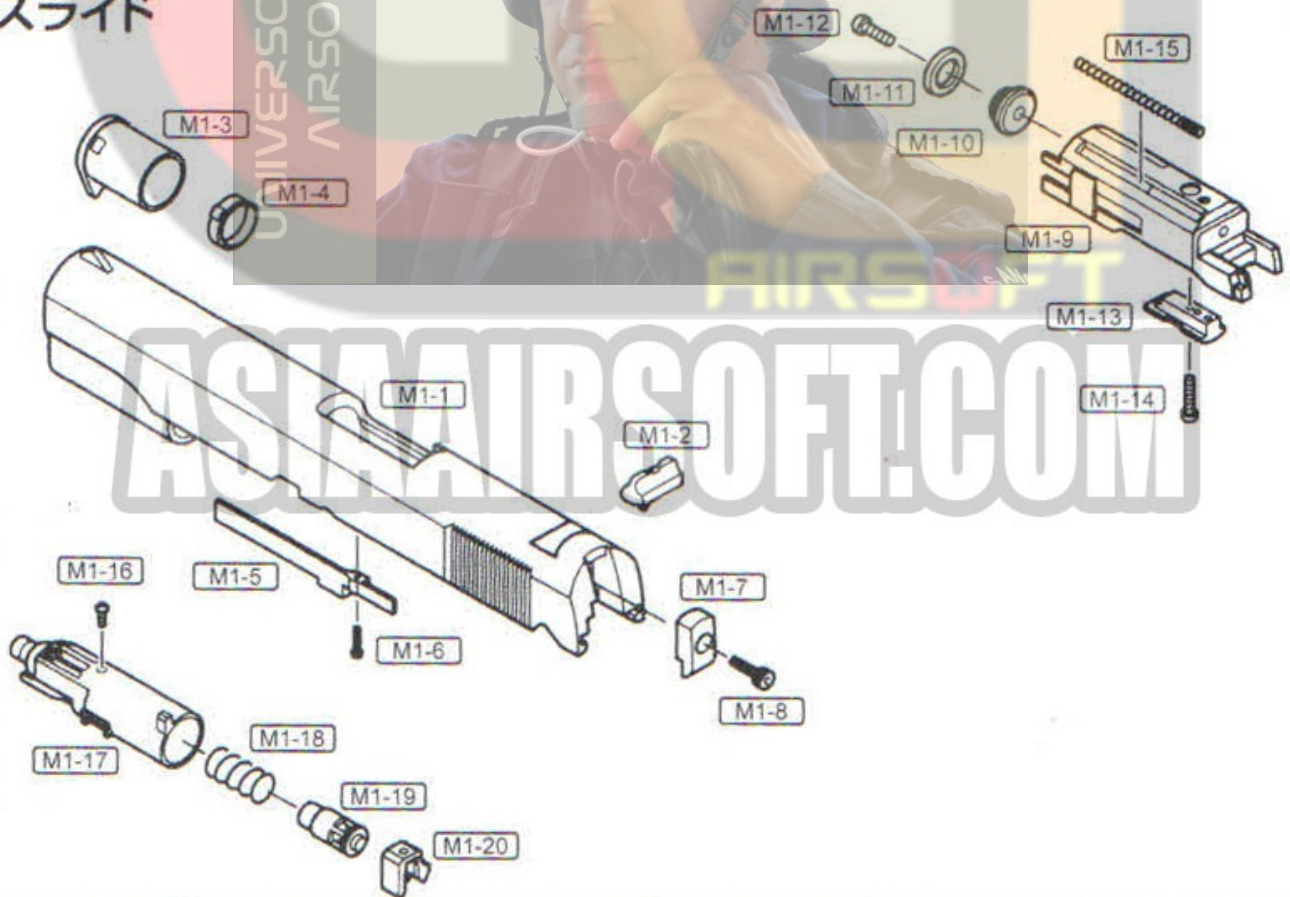
M1911 コルトガバメント/実銃データ	
型名	オートマチックピストルコルリ(=45モデル)1911
全長	218mm (グリップセフティの形状により変わります。)
全高	33mm
重さ	1,106g
銃身長	127.8mm
総弾数	7+1発
弾丸	45ACP弾

● M1911 COLT GOVERNMENT パーツリスト

バレル

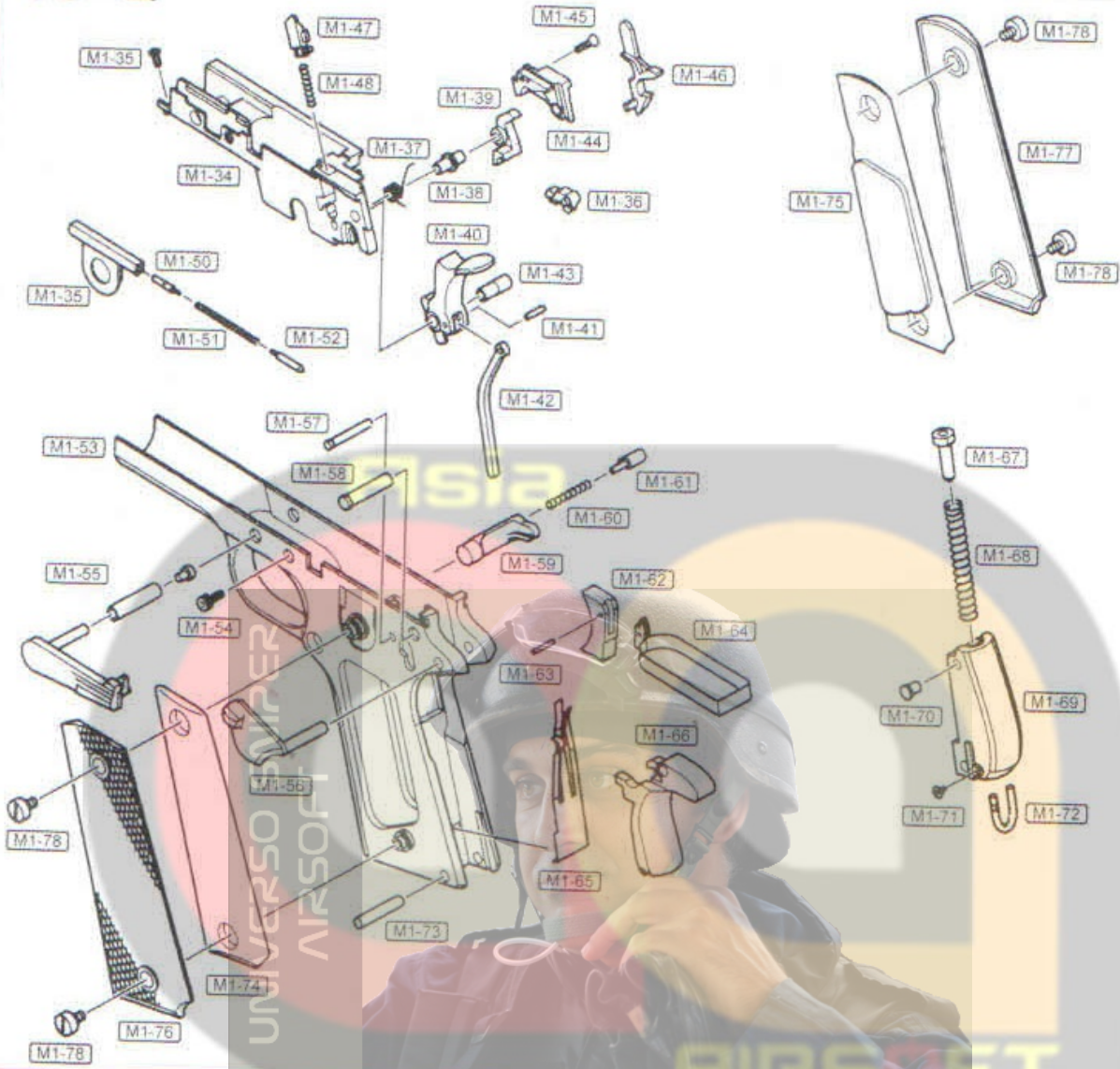


スライド

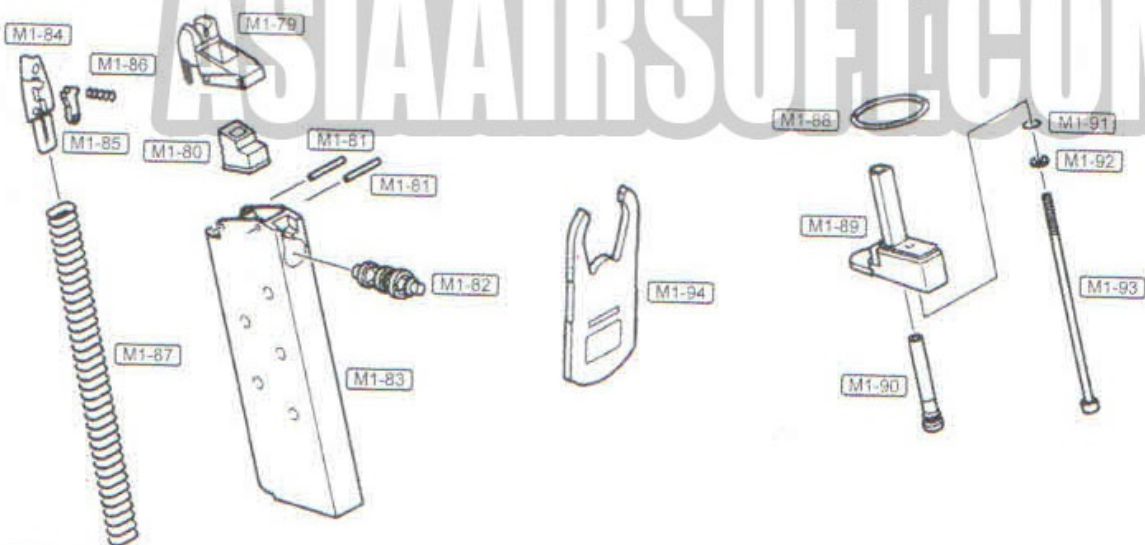


# ● M1911 COLT GOVERNMENT パーツリスト

## フレーム



## マガジン







この製品は、最適な性能・操作性を十分に考慮した上で製造されていますが、正しい操作による通常の使用状態でも、約10,000発の発射回数を超えますと、パーツの交換が必要となります。このような耐用期間を過ぎたパーツの交換及び故障、または、操作ミスによる故障及びメンテナンスの場合は、お買い求めいただいたお店もしくは当社アフターサービス部までご連絡ください。

■修理依頼品を当社アフターサービス部まで直接お送りいただける場合は、以下の点に注意してください。

- ・修理依頼品は、①製品名、②故障内容、③ご住所、④お名前、⑤電話番号、⑥郵便番号、を明記したメモを必ず添えてください。
- ・時期により修理パーツの不足、あるいは修理依頼品が選んでいる場合がありますので、事前に当社アフターサービス部までお問い合わせください。
- ・当社アフターサービス部まで直接お送りいただける修理依頼品は、BB弾を抜き、セフティをかけ、ガスを抜いた安全な状態でお送りください。
- ・修理依頼品の往復送料は、基本的にお客様のご負担となりますので、ご了承ください。

■以下の場合、修理をお受けできないことがあります。

- ・安全性に問題のある改造品、性能アップを目的とした改造パーツの組み込まれた製品、または分解・改造の形跡がある製品など。
- ・説明書にある正しい使用方法以外の使用が見受けられる製品など。

※改造などを施した銃、及び分解・改造が原因による事故に関しては、当社は一切の責任を負いません。